



# 陶韻クラブ

第8号

## 学習成果発表会

今年度の公民館教養講座の学習成果発表会は、3月1日(土)、2日(日)の二日間、行われます。

時間は、3月1日(土)は、10時から17時までですが、2日(日)は15時終了となります。

陶芸教室第45回生は6名ですが一年間の学習成果は大変すばらしく、味わいのある作品ばかりです。

来年度から陶韻クラブに入りたいという方もおりますから、是非見に行つて教室の皆さんとお話してみたら良いと思います。

## 焼き物の種類

焼き物に関する知識について定期的に記事を掲載していきます。今回は焼き物の種類についてです。焼き物は粘土や岩石の微粉をよく練って形をつくり、これを素地と言いますが、この素地の上に釉(うわぐすり)をかけて、高い温度で焼い

て、釉が融けてガラス質になり、素地の表面を覆います。この素地と釉との組み合わせで、焼き物は次の四種類に大別されます。

### やきもの(窯器)の種類: 土器・陶器・炆器・磁器<sup>[3]</sup>

種別	焼成	釉薬	特徴
土器	低火度(1000℃以下)	無釉	軟質、土色、吸水性大
陶器	低中火度(1200℃以上)	施釉	軟硬質、灰白色、吸水性あり
炆器	高火度(1100 - 1250℃)	無釉	硬質、灰色、吸水性小
磁器	高火度(1350℃以上)	施釉	硬質、白色、吸水性無

1 土器  
素地に吸水性があつて、釉は施されていない。例えば、「かわらけ」や植木鉢など。



※かわらけ

2 陶器  
素地に吸水性があるが、釉がかかっている。萩焼、志野焼、織部焼、益子焼、楽焼など。



※萩焼



※志野茶碗「卯花塙(うのはながき)」

3 炆器(せつき)  
素地には吸水性がなく、釉はかかっていない。陶器と磁器の中間的な性質を持つ焼き物で、吸水性がなく石のように硬いのが特徴です。英語では「ストーンウェア (Stoneware)」と呼ばれます。備前焼。万古焼(急須)など。



※備前焼

4 磁器  
素地に吸水性がなく、白くて釉がかかっています。

透光性がある。有田焼、清水焼、九谷焼、瀬戸、多治見地方のもの、会津本郷焼、砥部焼、洋式食器、コーヒー茶碗など。



※九谷焼

これらのうちでも判然としていないものもありますが、おおよその分類は以上ようになります。

## お楽しみ会について

1月の新聞でお知らせした「お楽しみ会」についてですが現在使用している粘土はこしとねばりがなくとても扱いづらい状態です。したがって、2月中旬以降から、赤およびなみこしをそれぞれを単体で使ってみて様子を見ていくことにしました。その結果により今後使うていく粘土変えていく予定です。